

# 岩国から全国へ、世界へ、 たんぽぽの綿毛のように、平和の種を

2006年

アメリカ軍航空母艦艦載機部隊の移駐計画に対する岩国市住民投票・・・9割が反対

2007年

岩国市で第1回岩国労働者反戦交流集会開催 全国から集まった労働者が反戦運動の交流

2008年

岩国市牛野谷、基地拡張に反対する住民たちと労働者の交流会は参加者の魂を揺さぶった。

戦争はさせない 基地はいらない 権力者の横暴と裏切りに振り回される未来を子どもたちに残さない

岩国現地の米軍基地反対の思いをそれぞれの職場に、地域に、  
労働者が届けよう、たんぽぽの綿毛のように

あれから10年・・・

労働者反戦運動のこれからを激論しよう

第10回 岩国労働者反戦交流集会

2016年12月10日・11日 岩国で

岩国・労働者反戦交流集会実行委

<http://iwakunihansen.jimdo.com/>

〒611-0031 京都府宇治市広野町西裏99-16

バール第2ビル3階

Tel.0774-43-8721 Fax.0774-44-3102

E-mail iwakunihansen@yahoo.co.jp

# 岩国・労働者反戦交流集会へ



## 2016 岩国行動と労働者反戦交流集会の要項

【12月10日(土)】

◆**岩国☆希望の祭 2016** @シンフォニア岩国

時間：13時会場・13時半～16時

◆**岩国国際連帯集会** @岩国市福祉社会館

“アジアから全ての米軍基地撤去を！”

2017 岩国基地大強化反対！ ”

時間：17時～20時

各地の反基地運動からの発言

韓国からのサードミサイルシステム配備反対闘争報告

【12月11日(日)】

◆**岩国基地と愛宕山のフィールドワーク(希望により)**

◆**愛宕山見守りの集い** (時間：10時 @愛宕山神社前広場)

◆**岩国・労働者反戦交流集会** @岩国市福祉社会館

時間：9時半～

◆**岩国米軍基地へ向けてデモンストレーション**

時間：13時出発

岩国で労働者反戦交流集会を積み重ねて10年。今年は特別な意味を込めて集会を行います。

“特別な意味”というのは一つには、昨年9月19日に安倍政権が強行採決した安保関連法によって、「戦争する国日本」が現実になっていることです。私たち労働者が戦争協力を強制され、戦争に動員され、他国の労働者と殺し・殺されるという状況が目の前に迫っています。

二つには、労働運動が日々直面し続いている貧困と格差、強欲な資本との闘いが、反戦に直結する時代になっていることです。

全世界の1%の人間が残りの99%の人間の富よりも多くを握りしめている世界。格差と貧困は年々広がり、グローバル企業が資源と市場を奪い合い、国家をコントロールして絶え間ない戦争が続いています。資本主義経済の行き詰まりを突破するのはいつも戦争による破壊です。

日本もまた、こうした戦争国家の仲間入りをしていこうとしています。麻生副総理は「ナチスの手法に学んで…」と言いましたが、まさにその通りのことが安倍政権下で進んでいます。

ナチスの初期の政策はドイツの労働者を失業と飢えから救い、国民の圧倒的な信頼を得ました。その一方で“統一”に権限を集中させ、独裁国家へ、戦争へと突き進んでいったのです。

私たちは同じ過ちを繰り返すわけにはいきません。大金持ちとグローバル企業の利益のための戦争で、他国の労働者と殺しあう未来は絶対に作らせません。

三つ目に、戦争に反対する闘いは、戦争準備の最先端でこそ闘わなければならないということです。沖縄で体をはった抵抗が続いています岩国でも、厚木からの艦載機移転が2017年完成を目指して強行されようとしています。米軍1万人がわがもの顔にのし歩く岩国にしてはなりません。

私たち労働者は一つ一つの闘いを通じて、労働者の連帯を強め、闘う労働者の陣形を作っていく必要があります。

米軍基地強化の現場ニ岩国で、労働者の闘いのこれからとともに激論しましょう。